

【アンケート調査結果】

新型コロナウイルスに関する暮らしの変化について

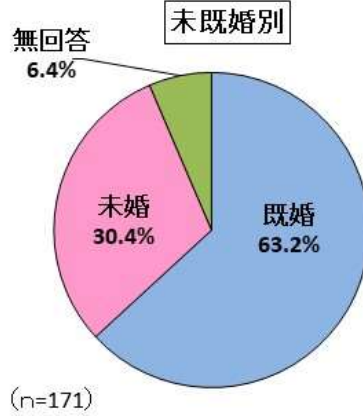
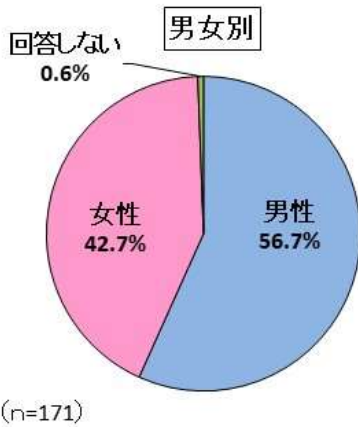
2020.12 愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査方法】 Webによるアンケート調査

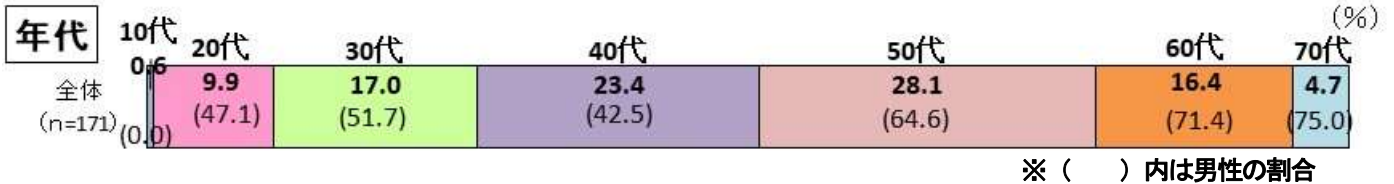
【実施期間】 2020年10月19日～11月9日

【回答件数】 171件

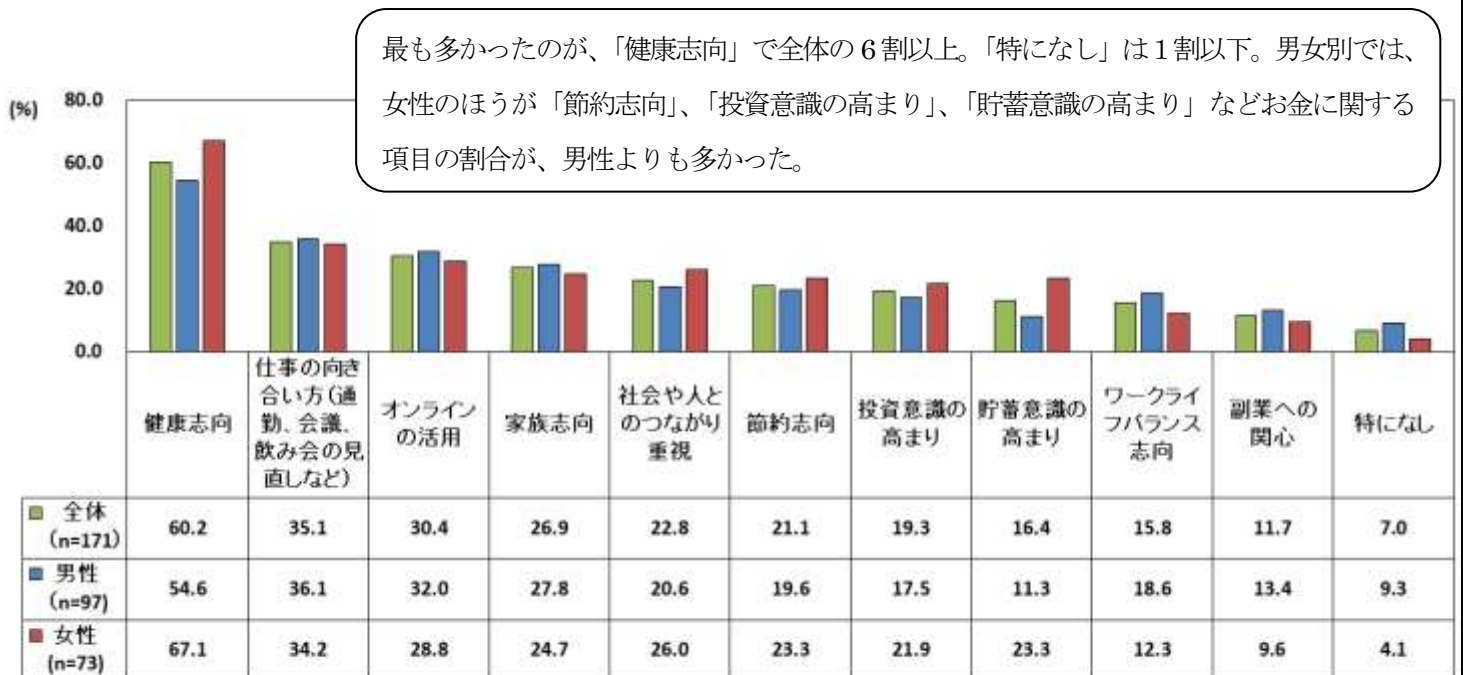
回答者の属性



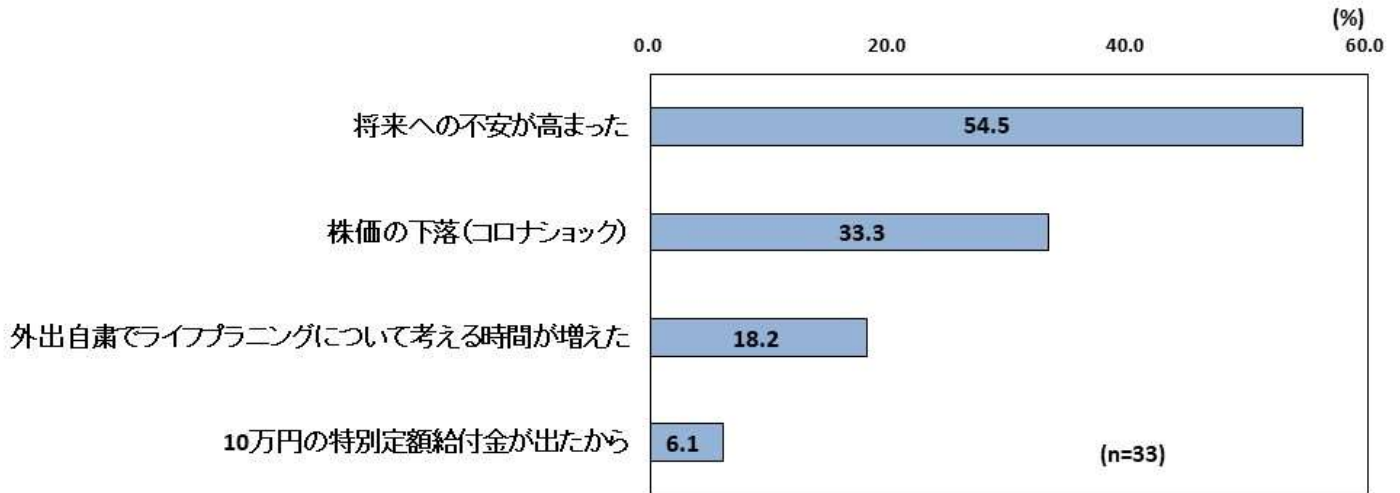
※各項目の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。



①新型コロナウイルスによる価値観の変化（複数回答）



② (①で「投資意識の高まり」と回答した人のみ) 投資意識が高まった理由 (複数回答)



コロナにより投資意識が高まった人は全体で約2割。

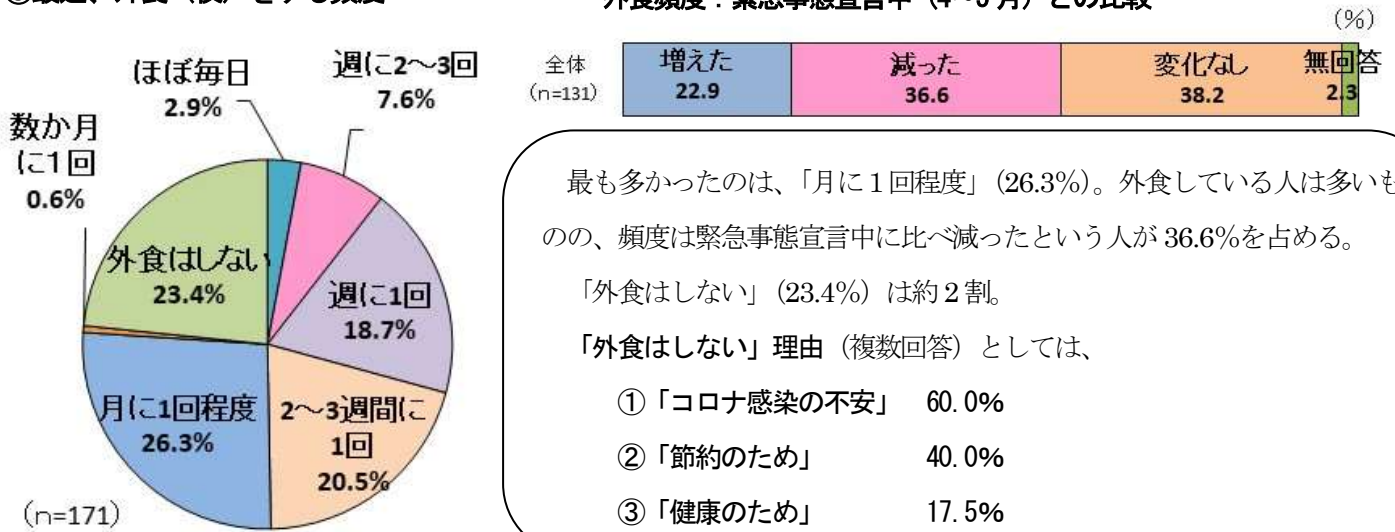
理由として最も多かったのが、コロナにより「将来への不安が高まった」(54.5%)が半数以上を占める。

「投資意識が高まった」人の中で、実際に投資を「始めた」人は、15.2%、「これから始める予定」の人は、27.3%。

「始めた」人は、投資信託や株式、「始める予定」の人は、金や株式、FXなどを挙げていた。

③最近、外食(夜)をする頻度

外食頻度：緊急事態宣言中(4~5月)との比較



最も多かったのは、「月に1回程度」(26.3%)。外食している人は多いものの、頻度は緊急事態宣言中に比べ減ったという人が36.6%を占める。

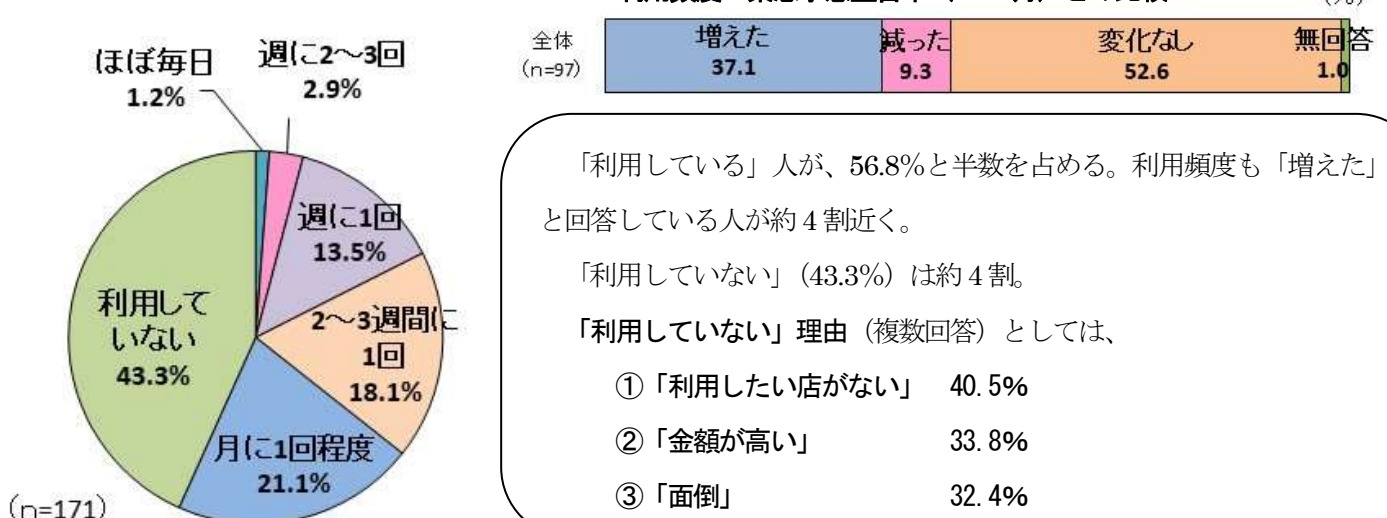
「外食はしない」(23.4%)は約2割。

「外食はしない」理由(複数回答)としては、

- ①「コロナ感染の不安」 60.0%
- ②「節約のため」 40.0%
- ③「健康のため」 17.5%

④テイクアウトやデリバリーの利用頻度

利用頻度：緊急事態宣言中(4~5月)との比較



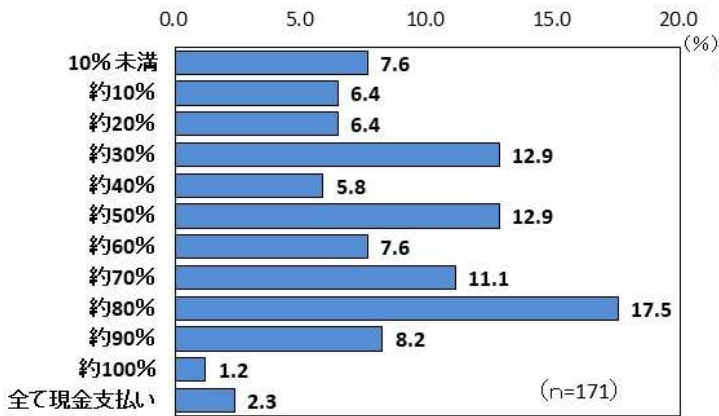
「利用している」人が、56.8%と半数を占める。利用頻度も「増えた」と回答している人が約4割近く。

「利用していない」(43.3%)は約4割。

「利用していない」理由(複数回答)としては、

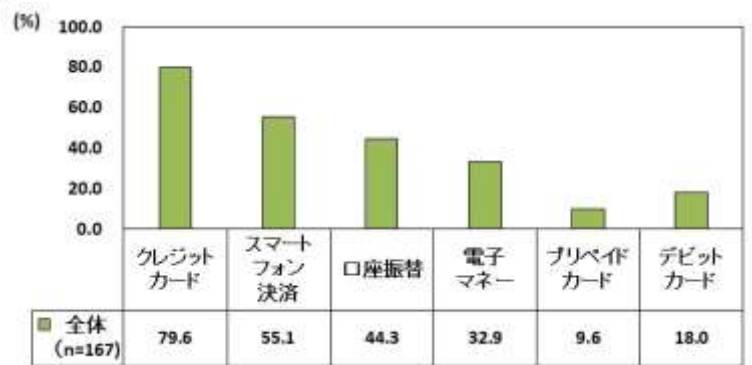
- ①「利用したい店がない」 40.5%
- ②「金額が高い」 33.8%
- ③「面倒」 32.4%

⑤生活費（1か月分）のキャッシュレス決済での支払い比率



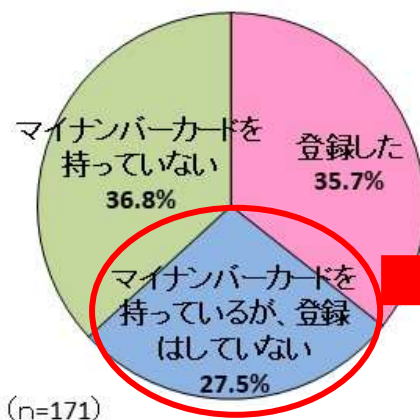
キャッシュレス決済での支払い比率 60%以上が約4割を占める。
「全て現金支払い」はわずか2%程度。

⑥キャッシュレス決済の種類（複数回答）



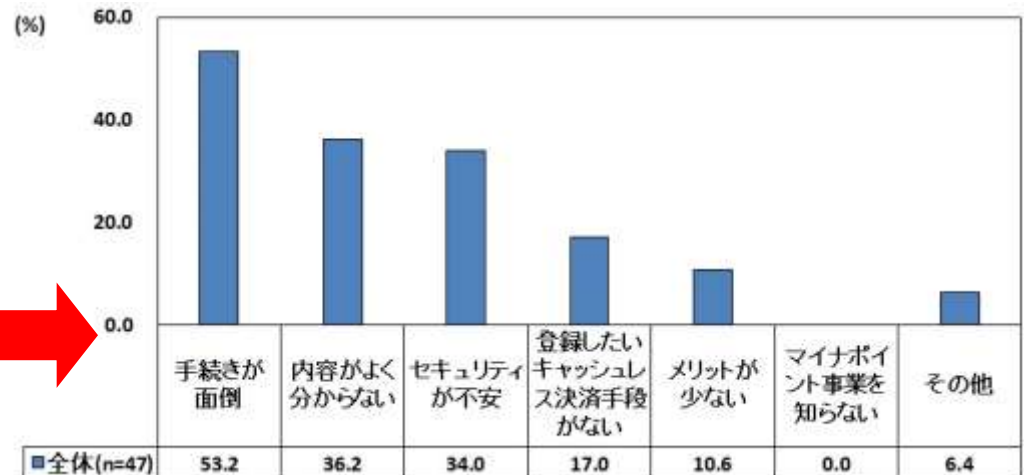
最も多かったのが「クレジットカード」で、約8割を占める。次いで「スマートフォン決済」が半数以上。
2020年5月に行った当行調査「サラリーマンアンケート」で、スマートフォン決済の利用率は25.9%だったことから、スマートフォン決済を利用している人が増加（半年で倍増）している。

⑦マイナポイントの登録



すでに「登録した」人は35.7%。
「マイナンバーカードを持っていない」人も、4割近くを占める。

⑧マイナポイントを登録していない理由（複数回答）



「手続きが面倒」が最多で、半数以上（53.2%）を占める。
マイナポイントの登録にはスマートフォンやPCから予約・申込が必要のため、事前登録が必要なかったキャッシュレス・ポイント還元事業と比べると、手続きが面倒そうと感じる人が多いと思われる。

【まとめ】

- ・新型コロナにより価値観（健康や仕事の向き合い方、お金に関することなど）が変化した人が多い。
- ・新型コロナの影響で、投資意識が高まった人は約2割。コロナにより将来への不安が高まったため。
- ・マイナポイントへの登録には、手続きの面倒さや内容が分かりにくいことなどがネックになっていると思われる。